



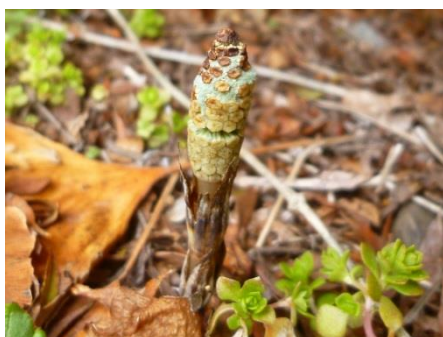
愛川ふれあいの村3月の風景

平成26年 3月 自然のたより

大雪が降った2月から、村の雰囲気ががらりと変わり、春めいてきました。グラウンドのカワツサクラがほころびはじめ、春の訪れを教えてくれました。春の妖精「カタクリ」も目をさまし、葉を広げています。陽の暖かさに誘われて出てきたチョウチョが気持ちよさそうに飛んでいました。



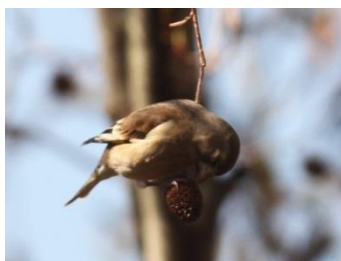
色鮮やかなコウバイ



春を教えてくれるツクシ



オオイヌノフグリ



実をつつくカワラヒワ



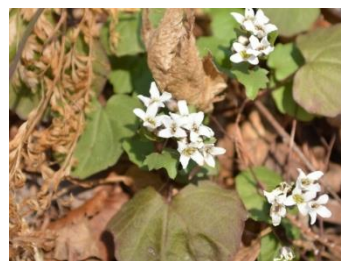
散歩中のカラス



越冬したテングチョウ



可憐なハクバイ



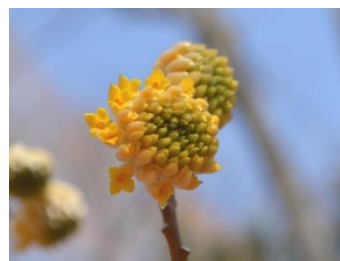
ユリワサビの花



ホトケノザ



花が咲いたカタクリ



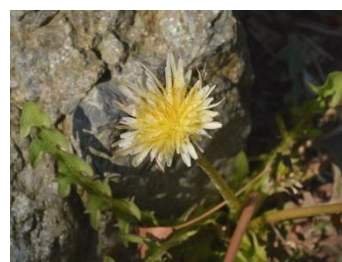
咲き始めているミツマタ



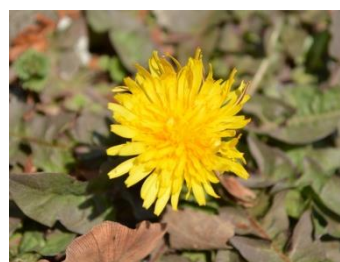
食べられたハッサク



アセビ



シロバナタンポポ



カントウタンポポ

★いったい誰が食べたのでしょうか？★

ハッサクの皮が、村の果樹園に落ちていました。

実ったハッサクの中身だけが食べられ、周辺には薄皮が散乱していました。落ちた果実が熟すのを待ってカラスが食べたと思いますが、太いくちばしでもいじり可能性もあり、真相は謎のまま…。

他の果樹園ではムクドリやカラスが栽培した果実をついばんで食べてしまうなどの被害があります。カラスはゴミを荒らすこともあり、嫌われることが多いのですが、今回のように栽培したのではなく自然に出来た果実であれば問題ありません。鳥類が悪者にならず、共存するためには果実を守る対策をする、生ゴミはゴミとして出さないようにする等、工夫が必要になってきますね。



★白梅と紅梅★

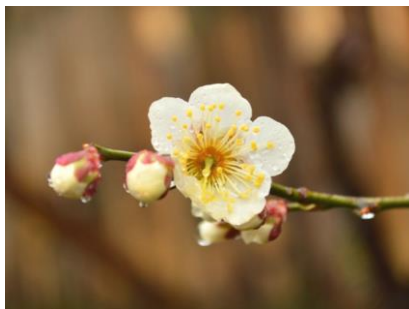
管理棟の裏にある『白梅』が村の中で一番に咲きました。梅は冬の寒さに耐え、たくさんの花の中でも一番に咲き、春の訪れを教えてくれます。3月に入ってもまだまだたくさんの花を咲かせています。

梅は「花が白いから白梅」「花が赤いから紅梅」という、『花の色』で紅・白が決まるわけではなく、枝の『断面の色』で見分けます。白梅の枝は白く、紅梅の枝はやや赤みがかっています。見分けるときは、なるべく地面に落ちてから日数が経っていない枝を選ぶようにしましょう。

梅は咲くのもゆっくりですが、散っていくのもゆっくりです。サクラの花と梅の花、両方楽しむことができれば、ラッキーですね。サクラの花の色も種類によって違うので、何色あるのか数えてみるのも楽しいですよ。



▲紅梅



▲白梅

発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611

HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・葉青芳・大瀧裕基子

文章：葉青芳・大瀧裕基子

漫画・イラスト：葉青芳

編集：葉青芳・加藤文昭

愛川ふれあいの村
で、検索★



器用な犯人

